

令和4年度 教育活動について

【学校づくりアンケート】報告

横浜市立東本郷小学校 2023.2.28

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、保護者の皆様には、ご多用な中、本校令和4年度教育活動について【学校づくりアンケート】にご回答いただきましてありがとうございました。これら各項目の評価や一つ一つの記述につきまして、全職員で課題を共有し検討いたしました。

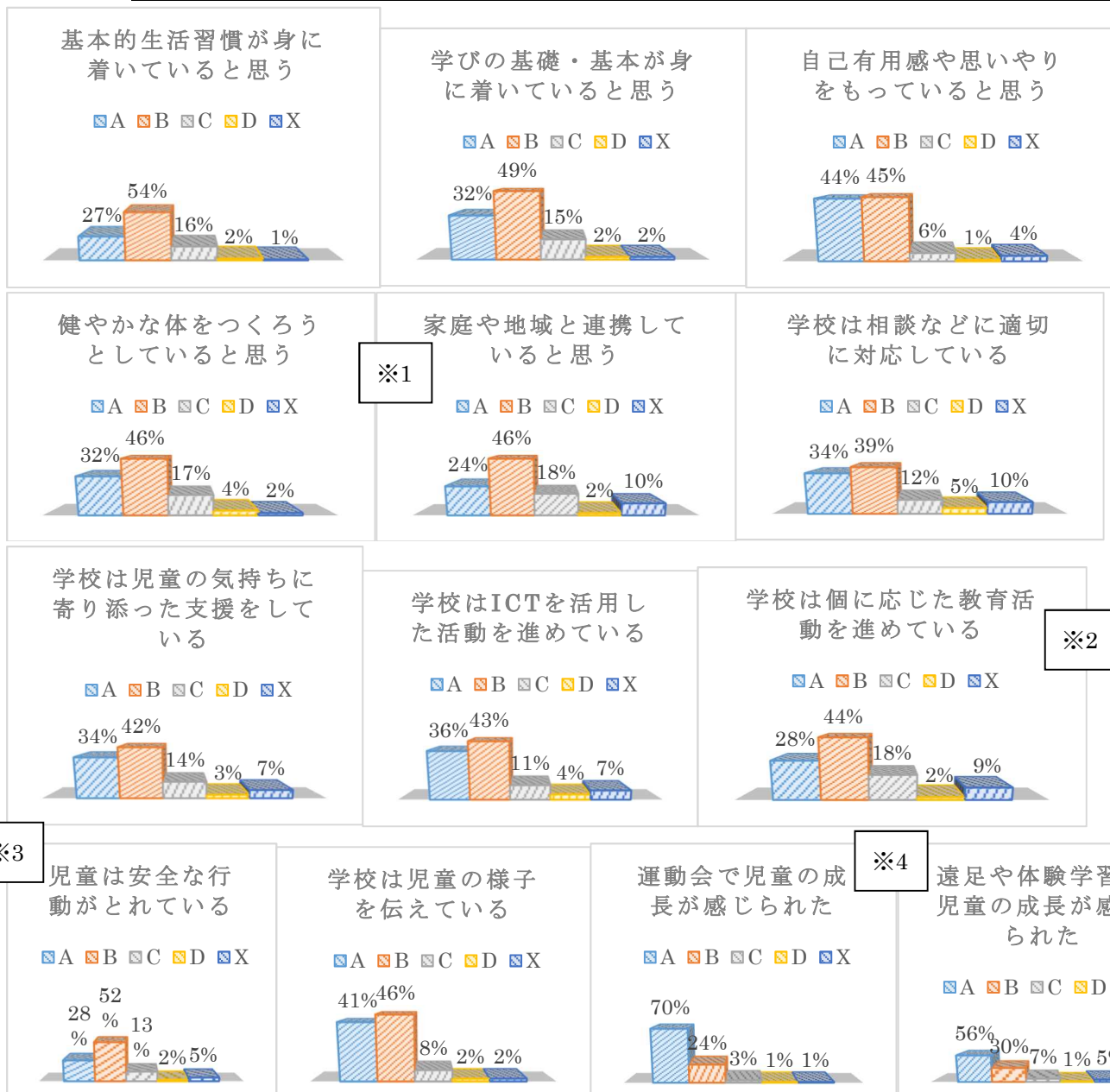
【保護者・児童アンケート】の集約結果及び学校の方向性等を合わせてご報告させていただきます。

本校教職員一同、このアンケート結果をいかして東本郷小学校の児童のために力を合わせて精進してまいります。

家庭及び地域の皆様におかれましては、今後とも東本郷小学校へ多くのご支援をいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

学校長 堂腰 康博

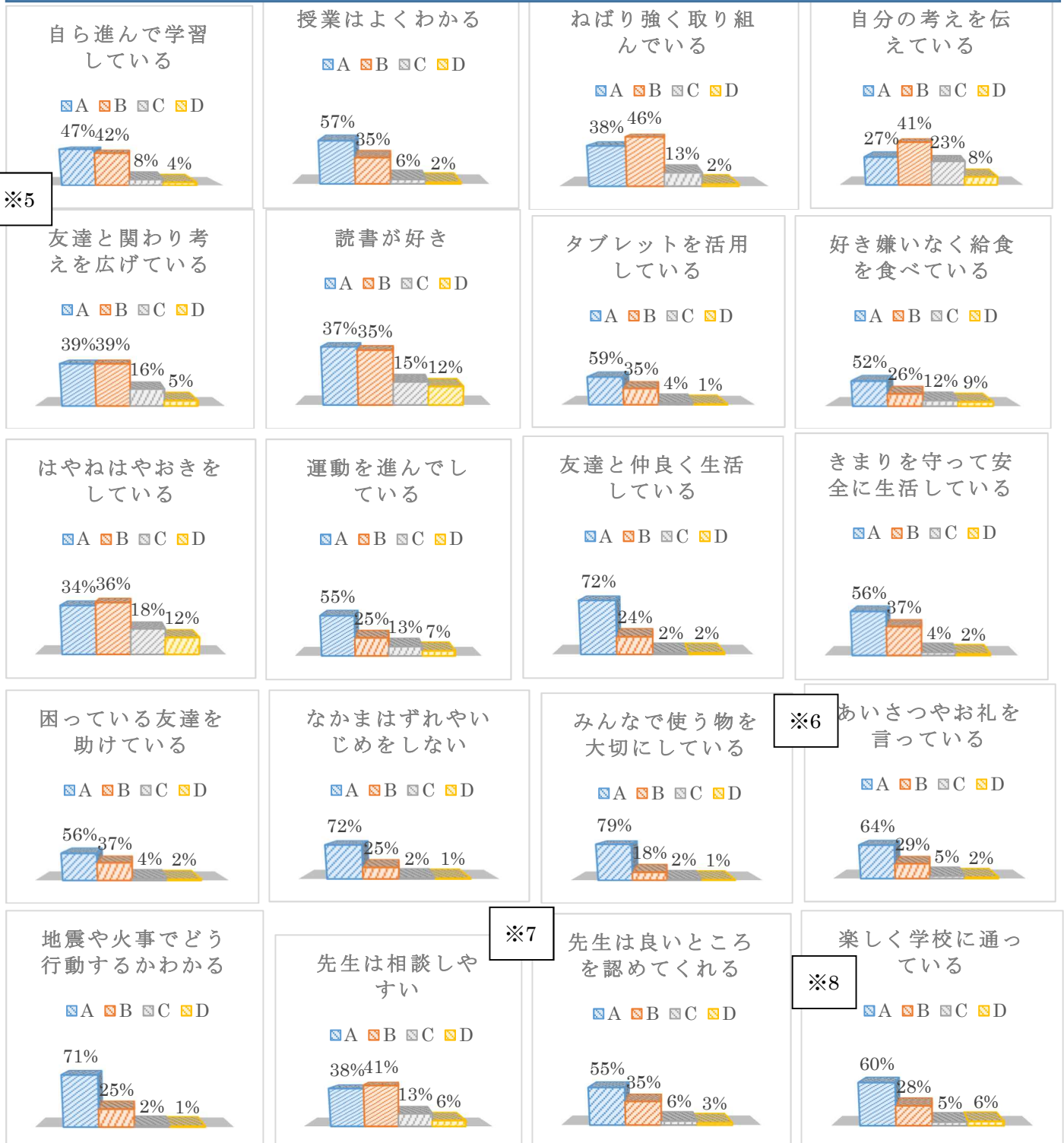
A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない X：わからない



アンケート結果の傾向 と 教職員で共通理解した内容

- ※1 地域連携では、コロナ禍でストップしていた家庭や地域とのつながりをアフターコロナの形態でリスタートさせていきたいと考えます。来年度は、**地域コーディネーターの方との連携**をより密にしていくことと、**学校の教育活動に必要なボランティアの募集**を行うことに力を入れていきたいと思います。
- ※2 特別支援教育については、多様化する児童の実態や教育的ニーズに応じていくための校内での環境整備が必要となってきています。来年度は、**教室配置を工夫**するとともに、**特別支援のための教室**を整えます。
- ※3 安全について、校内での安全な過ごし方と登下校の安全に関して課題が見受けられます。学援隊の活動休止に続き、地域による見守りボランティアも高齢化に伴って活動休止となりました。**教職員による登校時の学校付近十字路の見守りと下校指導は可能な範囲で行いますが、家庭・地域と連携を図りながら、子どもたちの安全をどう確保するか**とも考えていきたいです。
- ※4 各種行事や校外学習は、来年度も感染症対策を講じた上で実施の計画を立てていきます。宿泊体験学習の行先や実施形態、各学年に必要な校外学習や社会科見学の見直しを行い、計画を立てていきます。**(宿泊体験の行先は、4年生7月：七沢 5年生5月：片品 6年生6月：日光を予定しております。)**
- ※他 持続可能な学校づくりの一環として、**各学年の週当たりの授業時数**を見直しています。子どもたちにとって無理がなく、教職員が授業の質を高めるための時間を確保していきたいと思います。詳しくは、日課表【2023年度】をご確認ください。

児童アンケート集計結果



アンケート結果の傾向 と 教職員で共通理解した内容

- ※5 令和4年度は、各教科において言語活動を充実させながら、子どもたちが伝え合う活動を楽しみ、共に関わり合いながら学ぼうとする授業づくりに努めてきました。令和5年度は、**生活（1、2年生）と総合的な学習の時間（3～6年生）を校内で共同研究**します。子どもが自ら「問い」を見出し、課題解決のために主体的に学び、学ぶ楽しさややり取りする喜びを実感できる授業づくりに努めます。
- ※6 令和4年度は、朝会などで、あいさつについての指導を継続的に行ってきました。あいさつについての子どもの意識が高まるようにしていきたいと思います。
- ※7 「先生は相談しやすい」のC+D評価が119人、「先生は良いところを認めてくれる」のC+D評価が56人でした。教職員が子どもたちにとって、安心して何でも話せる存在であったり、長所をしっかりと認めてくれる存在であったりするように努めます。担任だけでなく、一部教科分担制や専科の授業での関わりを生かし、**学年や学校全体で子どもたちを見守っていける体制づくりを進めて**いきます。
- ※8 「楽しく学校に通っている」数値はとても高く、嬉しい結果です。更に学校生活を自分たちで楽しくできるよう、令和5年度は**異学年交流活動**を年間を通して実施します。

学習

- ・本気で取り組む、自分で課題を見つける、などへの具体的な取組をしていってほしい。
- ・対話を通して異なる意見を知り、考え学び合う時間を沢山経験させていただけたらと思います。
- ・学習にスムーズに取り組めない子へのサポートが少ないと感じる。
- ・卒業生や著名人を学校に招いて、子どもたちに話をしてもらおう機会が増えると良いと思います。

行事

- ・コロナ禍にも関わらず、がんばって少しずつ行事を増やして頂き、とても感謝しています。
- ・他クラスや他学年との交流の場が増えるといいと思います。・宿泊体験学習を実施していただき、感謝しています。

参観 面談 懇談会

- ・個人面談では、日ごろの子どもの様子を積極的に話してほしい。 ・入学前の配付物の記載を丁寧にしてほしい。
- ・コロナ禍で、同じクラスなのに友達の色や保護者の方が分からなかったりするのが残念です。

学校のきまり

- ・忘れ物をして宿題を忘れても子どもが困らない環境で、成長がない。成長するきっかけがあってほしい。
- ・放課後や休日に友達と遊びたがるようになりました。校庭開放があれば知りたいです。
- ・休み時間を確保して、しっかりと準備する時間などが設けられると良いと感じる。

児童理解・児童指導

- ・子どもを高め、寄り添ってくれる先生が増えたら、より良い学校になると思う。
- ・個に応じた対応へ、子どもの長所を認め、自己肯定感を高めていけるように家庭と協力して取り組んでほしい。
- ・偏見やからかいがないように、人権意識を子どもたちに高めていってほしい。
- ・人権や多様性を身近に感じて、尊重しようと思える体験をしてほしいです。
- ・子どもがいつでも相談にいける場所があったら心強いと思う。
- ・個別支援学級の子たちと一緒に関われる機会が増えたらいいと思う。
- ・休み時間の子どもの言動にも気を配り、子どもがのびのびと自分の意見を発言し合える環境をつくってほしい。

配付物・情報発信

- ・教材などを購入できる制度がほしい。説明不足のプリントもあるように感じる。
- ・コロナ感染に関するマチコミの通知が多いと感じる。 ・学校の取組についての説明が不足しているように思う。
- ・学年便りと学校だよりで内容がまとめられてとても良かったです。家庭でも場所をとらず、見やすくなりました。
- ・学校だよりの発行を月末に余裕をもってほしい。

安全

- ・登下校の安全について、危ない場面がある。下校の指導をお願いします。交通安全の意識を高める必要がある。
- ・通学路当番は、当番制ではなくてもよいと思う。 ・集団登校や集団下校の再開があってもよいのではと思う。

タブレット オンライン

- ・タブレットをもっと活用し、教科書の持ち運びをなくし、オンライン授業ができるようになってほしい。
- ・学級閉鎖などでは、紙での課題ではなく、オンライン授業を行い課題を進めるなどを学校として考えてほしい。
- ・アプリ活用、プリントの電子化、特別な授業の web 公開、電子教材を増やすなど、進めてほしい。

その他

- ・道路や公園でゴミを捨てている子どもの姿がある。
- ・積極的に学校に関わってくださる地域の方以外にも、学校について知っていただく必要がある。
- ・開門の時間をもう少し早めてほしい。 ・時間割をきちんと活用してほしい。 ・夏の教室が寒すぎる。
- ・クラスによって宿題の出し方に偏りがあるように感じる。基準を設けてほしい。
- ・今年は地域の祭り「ひがほんまつり」が開催されたので参加した。子どもが喜んでいたので、また開催してほしい。
- ・雨の日は教室に入れる時間も8時にしてほしい。
- ・悩み事に親身に考えてくれたり、日々の気付いたことを伝えてくれたり、先生方にはとても感謝しています。
- ・鉢植えやバケツ稲の持ち帰りは、安全上の見直しをしてほしい。
- ・園生活からギャップを感じさせないように工夫してカリキュラムを考えていることがよく分かりました。

アンケートに記述いただきありがとうございました。ご質問ご意見に関していくつか説明します。

◇学校だよりは、下校時刻を掲載するよう令和4年度中に変更をしました。引き続き、改善を図っていきます。

◇2年生の鉢植えや5年生のバケツ稲の持ち帰りは、安全上の配慮から、令和5年度以降行いません。1年生の生活科で学習する一人一鉢の植木鉢は、個人面談の開催日に保護者の方に持って帰れるよう調整していきます。

◇コロナ不安や不登校など学校に登校できない児童が必要に応じて学ぶ方法を選ぶ取組として、ヒガホン版どこでもスタディを実施していきます。①ロイロノートでの課題や板書の提供と質問のやり取り ②横浜市提供の学習動画や学習ドリルのお勧め ③学習アプリのインストール ④オンラインでの授業参加（※視聴は学校内別室）などを計画しております。尚、感染症の罹患や学級閉鎖での欠席中に課題が提供できるかは体調に寄りますので、適宜判断していきます。

◇コロナ禍以降、放課後の校庭開放は、行っていませんでした。令和5年度より校庭解放を予定しております。決定し次第、改めてお伝えいたします。

◇令和5年度も朝の開門は8:00、昇降口開錠は8:10です。8:10~8:20の間に登校してください。